

北九州市民の手紙33通と 大英産業の寄付1000万円

釜石副市長へ手渡す

岩手県釜石市の嶋田賢和副市長が23日、北九州市を訪れ、北橋健治市長らと面会。北九州市民が釜石に寄せた手紙33通と、不動産業「大英産業」（八幡西区）からの寄付1000万円をそれぞれ受けとった。

北九州市は震災直後からこれまで延べ市職員378人を釜石市に

派遣、現在も10人が現地で復興を支援している。市は3月、現地支援に当たった北九州市職員の思いを言葉と写真のパネルで紹介する「3・11から2年いまま、伝えたいこと」を小倉北区の市立文学館で開催。会場で「釜石への手紙」を募り、市民33人が手紙を寄せた。

嶋田副市長は「北九州市のみなさんには本当に助けられた」とあいさつ。北橋市長は「今年度も支援を継続していく」と応えた。その後、今川英子館長が手紙33通や展示パネルなどを、大英産業の大園信社長が寄付1000万円を、それぞれ嶋田副市長に手渡した。

釜石市は近く、JR釜石駅前の市施設で手紙を展示する方針。

【尖戸襲】



今川・市立文学館長（左）から、北九州市民の「釜石への手紙」などを受け取る嶋田・釜石副市長

東日本大震災支援

かまいしプロジェクト

毎日新聞西部本社は、東日本大震災で被災した岩手県釜石市の二つの保育園再建のために「かまいしプロジェクト」を展開しています。ハローデイグループ全店にも募金箱を設置しています。ご協力お願いします。

◆募金窓口◆

- 北九州銀行本店営業部 5072736
- 西日本シティ銀行北九州営業部 2071140
- 福岡銀行北九州営業部 2821405
- ゆうちょ銀行 01750-9-141989

口座名義 毎日新聞西部本社